

放課後子ども教室だよ

川俣たのしい教室訪問

子ども教室充実のために

県北域内では、今年度23の放課後子ども教室が開催されました。地域のニーズに合わせ、それぞれ特色のある取り組みが実践されています。県北教育事務所では今年度も全ての教室を訪問し、活動の様子を参観させていただいてきました。関係される皆様に感謝申し上げます。

川俣たのしい教室

川俣町（2月25日）

川俣たのしい教室は、授業参観日の子どもたちの待ち時間を利用して実施しており、年間5回程度開催されています。対象児童は全学年でその都度申し込む形となりますが、毎回70名近くの申込みがあります。

訪問当日は63名が参加し、体育館で活動を行いました。全体での説明の後、まずは宿題に取りかかりましたが、指導員の方は宿題が分からない子に教科書を用いて説明したり、文字や数字を丁寧に書くよう声を掛けたりと、個に応じた対応をされていました。宿題の時間が終わると児童は体育館全面を用いて目一杯体を動かしました。バドミントン、バスケットボール、ボール投げと様々ですが、上級生が下級生に教えながら遊びを工夫する姿が見られました。縦の関係が構築できるのも、子ども教室ならではの利点です。またオセロやドミノといったゲームを、児童と指導員の方が一緒に楽しむなど、世代間の交流も図られていました。



放課後子ども教室の更なる充実に向けて

子ども教室訪問を通して以下のことを伝えて参りました。今後の活動の参考になれば幸いです。

- ① **地域が一体となった取組み** 地域で様々な立場や形態で行っている団体や個人のネットワーク化を進め、地域が一体となって子どもたちを育てていきましょう。
- ② **学校との連携** 学校と児童の生活の様子の変化や学校行事等にもとまらぬ下校時刻の変更などの情報交換を日常的に行い、適切な対応と安全確保を図りましょう。
- ③ **さまざまな活動機会の提供** 地域の教育力を活かした豊かな体験活動及び学習活動や、地域住民との交流活動など、さまざまな活動機会を提供しましょう。
- ④ **支援を要する児童への対応** 特別な支援を要する児童に対する正しい理解と適切な対応を図るために、関係者の資質向上のための研修を実施しましょう。
- ⑤ **安全管理方策の充実** 児童の発達状況や活動状態に即した安全管理を行いましょう。
- ⑥ **広報・啓発活動の充実** 広報誌等を活用し、地域に子ども教室への理解と協力が得られるよう、その意義や活動内容等について情報発信しましょう。